

氏名	有竹清夏	部署	健康開発学科	職名	准教授
研究分野	臨床生理学, 睡眠学, 時間生物学				
学位	博士 (保健学)				
学歴	2000年東京医科歯科大学医学部保健衛生学科卒業, 2003年東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科博士前期課程修了, 2006年東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科博士後期課程修了				
経歴	2000年日本大学医学部助手, 2001年国立精神・神経センター精神保健研究所/病院 研究員, 臨床検査技師, 2010年日本学術振興会特別研究員PD, 2012年ハーバード大学医学部/ブリガム&ウィメンズ病院リサーチフェロー, 2013年早稲田大学スポーツ科学学術院助教, 2017年東京大学大学院教育学研究科特任助教, 2017年埼玉県立大学健康開発学科准教授				
所属学会 (役職)	日本睡眠学会 (評議員, 国際機関誌編集委員), 日本時間生物学会 (評議員), 日本PSG研究会 (幹事), 日本臨床神経生理学会, 日本臨床衛生検査技師会, 日本臨床検査学教育学会, American Association of Sleep Technologist (AAST), American Academy of Sleep Medicine (AASM), National Sleep Foundation (NSF)				

【2021年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
1	これからの睡眠医療における検査技師教育の在り方—海外の状況を踏まえて—	共著	あり	睡眠医療15(1):115-119.	有竹清夏.	2021.3
2	Association of subjective quality and quantity of sleep with quality of life among a general population.	共著	あり	International Journal of Environmental Research and Public Health. 18(23):12835.	Matsui K, Yoshiike T, Nagao K, Utusmi T, Tsuru A, Otsuki R, Ayabe N, Hazumi M, Suzuki M, Saitoh K, Aritake-Okada, S, Inoue Y, Kuriyama K.	2021.12
3	Mortality associated with nonrestorative short sleep or nonrestorative long time-in-bed in middle-aged and older adults.	共著	あり	Sci Rep. 2022 Jan 7;12(1):189	Yoshiike T, Utsumi T, Matsui K, Nagao K, Saitoh K, Otsuki R, Aritake-Okada S, Suzuki M, Kuriyama K.	2022.1
4	Associations of nonrestorative sleep and insomnia symptoms with incident depressive symptoms over 1–2 years: longitudinal results from the Hispanic Community Health Study/Study of Latinos and Sueño Ancillary Study.	共著	あり	Depression & Anxiety. (in press)	Saitoh K, Yoshiike T, Kaneko Y, Utsumi T, Matsui K, Nagao K, Otsuki R, Aritake S, Kadotani H, Kuriyama K, Suzuki M.	2022.3
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者 (発表者は○印)	発表等年月	
1	一般成人における睡眠休養感の関連因子とその位置づけ	共同	第46回日本睡眠学会定期学術集会	長尾賢太郎, 吉池卓也, 斎藤かおり, 松井健太郎, 内海智博, 大槻 怜, 河村葵, 有竹清夏, 鈴木正泰, 栗山健一	2021.9	
2	睡眠による休養感の欠如と高血圧発症との縦断的関連—既存コホートデータ (HCHS/SOL) による検討—	共同	第46回日本睡眠学会定期学術集会	斎藤かおり, 吉池卓也, 金子宜之, 大槻 怜, 内海智博, 長尾賢太郎, 松井健太郎, 有竹清夏, 角谷 寛, 栗山健一, 鈴木正泰	2021.9	
3	【シンポジウム】 睡眠時間の主観—客観乖離と健康との関連	共同	第46回日本睡眠学会定期学術集会	内海智博, 吉池卓也, 有竹清夏, 松井健太郎, 長尾賢太郎, 都留あゆみ, 大槻 怜, 福水道郎, 山元健太郎1, 綾部直子, 羽澄恵, 斎藤かおり, 鈴木正泰, 栗山健一	2021.9	
4	主観的入眠潜時と睡眠構造・熱放散との関連.	共同	第2回日本睡眠検査学会学術集会.	飯島竜星, 門岡あかり, 菅原海莉, 伏見もも, 細江みずき, 有竹清夏.	2021.11	

5	【シンポジウム】子供の睡眠・生活リズムがその後の健康に及ぼす影響	共同	20th日本発育発達学会	有竹清夏	2022.3
(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省科学研究費補助金 (基盤B: KAKENHI 19K03348)		高齢者の不眠に対する認知行動療法の最適化	研究分担者	2020.4-現在
2	厚生労働科学研究費補助金 (21FA0201)		現代の社会生活に応じた適切な睡眠・休養取得のための行動変容促進ツールの作成及び環境整備のための研究	研究分担者	2021.4-現在
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	生理機能検査学Ⅰ	○	15	2年次前期3.4限 30時間：科目責任者として心電図、脳波、筋電図などの基礎および臨床に関する講義、定期試験作成・実施を行った。	
2	生理機能検査学Ⅱ	○	8	2年次前期3.4.5限 15時間：科目責任者として呼吸機能検査の講義、定期試験作成・実施および非常勤講師の対応を行った。	
3	生理機能検査学Ⅲ	○	8	3年次前期1.2.3限 15時間：科目責任者として感覚機能検査の講義、定期試験作成・実施および非常勤講師の対応を行った。	
4	生理機能検査学Ⅲ（画像検査学）	○	15	3年次前期1.2.3限 30時間：科目責任者として画像検査の講義、定期試験作成・実施および非常勤講師の対応を行った。	
5	生理機能特論	○	8	4年次後期2限 15時間：科目責任者として生理機能全般に関する講義・演習を行った。	
6	臨床検査概論		1/8	1年次前期5限 2時間：科目担当者として生理機能検査概論を講義した。	
7	検査機器総論		1/15	1年次後期 2時間：科目担当者として病院見学に帯同した。	
8	医科学研究法		1/15	2年次前期5限 2時間：科目担当者として医科学研究法を講義した。	
9	生体情報評価学		3/15	大学院博士前期課程1年次 6時間：科目担当者として講義を行った。	
10	医療科学研究論		4/15	大学院博士後期課程1年次 8時間：科目担当者として講義を行った。	
11	医療科学研究演習	○	-	大学院博士後期課程1年次：科目責任者。	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	生理機能演習	○	30	2年次前期3.4.5限 30時間：科目責任者として生理学実習の説明・実演および実習指導を行い、非常勤講師の対応を行った。	
2	検査総合演習Ⅱ		2/15	4年次後期2.3限 4時間：科目担当者として臨床検査科目のうち生理機能検査学について総括を行った。	
3	健康福祉科学演習		-	大学院博士前期課程1年次：科目担当者として演習指導などを行った。	
(3) 実習					
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	生理機能検査学実習	○	23	3年次前期1.2.3限 45時間：科目責任者として循環器、脳神経、呼吸機能の検査項目9種類について実習書を作成し、それをを用いて学生に実習指導を行った。	
2	画像検査学実習	○	23	3年次後期3.4.5限 45時間：科目責任者として超音波画像、感覚機能の検査項目種類について実習書を作成し、それをを用いて学生に実習指導を行った。	
3	臨地実習		2021.12-2022.3	3年次後期 45時間：科目担当者として3年次学生の臨地実習受入施設への訪問・対応、学生対応などを行った。また臨地実習担当として学生の病院施設配置や実習に関するガイダンスなど種々の指導を行った。	
4	IPW実習		2021.8	4年次後期 4日間：科目担当者として4年次学生のIPW実習受入施設への訪問・対応、学生対応などを行った。	

(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2021.4~2022.12	主指導 4名	副指導 名
2	修士論文	2021.4~2022.3	主指導 (指導教員) 2名	副指導 (指導補助教員) 名
3	修士論文	2021.4~2022.3	名	副指導 (副査) 1名
5	博士論文	2021.4~2022.3	名	副指導 (副査) 1名
(5) その他				
	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	東京医科歯科大学医学部保健衛生学科	2021.4-2022.3	3年次生理検査学Ⅱ: 非常勤講師として生理検査学の講義を担当した。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	埼玉未来大学 川越学園 前期	公益財団法人 いきいき埼玉	楽しく脳力アップ (睡眠の効用)	2021.6
2	埼玉未来大学 伊奈学園 前期	公益財団法人 いきいき埼玉	楽しく脳力アップ (睡眠の効用)	2021.6
3	埼玉未来大学 川越学園 後期	公益財団法人 いきいき埼玉	楽しく脳力アップ (睡眠の効用)	2021.11
4	越谷市立平方中学校 学校保健委員会	睡眠健康推進機構	睡眠のメカニズム、健康に与える影響、望ましい睡眠のとりかた	2021.10
5	越谷市立増林小学校	睡眠健康推進機構	睡眠の大切さ	2022.1
6	県立杉戸農業高等学校	埼玉県立大学研究・地域産学連携担当	高校出張講座 勉強や運動のパフォーマンスを上げるためのコツ	2022.3
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	日本睡眠学会	評議員, 幹事 (2021.7-)		2007.7-
2	日本睡眠学会	生涯教育セミナー作業部会委員		2007.7-
3	日本睡眠学会	SBR編集局員		2016.7-
4	日本睡眠学会	国際機関誌編集委員会		2016.7-
5	日本時間生物学会	評議員		2010.4-
6	日本PSG研究会	幹事, 学術交流委員会副委員長(2021.6-)		2010.4-
7	日本睡眠検査学会	評議員		2020.9-
8	日本睡眠検査学会	学術交流委員会 副委員長 (2021-)		2020.9-
9	日本睡眠検査学会	学術企画委員会		2020.9-
10	日本睡眠検査学会	精度管理委員会		2020.9-
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	プレスリリース	睡眠休養感がカギを握る: 健康維持・増進に役立つ新規睡眠指標の開発		2022.2
2	産経新聞埼玉版	睡眠の質は「休養感」で決まる		2022.3
3	フジテレビプライムオンライン	大事なものは“睡眠時間”だけではない? “休養感”がないと死亡リスク増…睡眠での心掛を研究者に聞いた https://www.fnn.jp/articles/-/333809		2022.3
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	産業支援	製薬会社	臨床試験に関する中央判定業務	2019.5-
2	産業支援	USEN株式会社	音楽が入眠および目覚めに与える効果についての産学連携共同研究	2020.2-
3	産業支援	武田薬品工業株式会社	臨床試験に関する医療技術支援	2020.2-
4	産業支援	花王株式会社	共同研究	2021.2-
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	奨励研究部会		2020.4-
2	学科等における委員会等	臨地実習担当		2018.4-
3	学科等における委員会等	大学院教務担当, 大学院博士後期課程設置ワーキンググループ		2018.4-
4	学科等における委員会等	将来構想検討ワーキンググループ		2019.8-
5	学生支援	学生担任教員 (2年), 学生担当アドバイザー, 学習及び進路などの相談・支援		2018.4-

6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		